

平成 29 年度 第 1 回かつしか社会福祉士会役員会 議事録

日時：平成 29 年 4 月 20 日（木）19：00～20：40

場所：金町地区センター 4 階会議室

出席者：吉田、和賀井、中嶋、金杉、小暮、大石、大淵、勅使河原、賀川、篠塚、新美

（敬称略）計 11 名

作成者：事務局 新美

※総会の事務担当（当日スケジュールと役割分担）、1 号議案（事業報告）、3 号議案（事業計画）に掲載される内容については概ね省略とする（後日金杉さんよりメーリングリストに掲載される各文書を確認してください）。

1. 総会の記念講演について（大石さん）

- ・講師：目白大学人間学部人間福祉学科 船越知行教授（大石さんの恩師）
- ・内容：当初は障害者・高齢者の福祉サービス一元化法案をテーマとして相談。船越教授より、一方的な講義ではなく参加者と意見交換するスタイルにしたいとの意見あり。テーマとして教授から提案されたのは、「あまり深く関わると体に障る援助と支援の違い」。これに制度のことも加えてほしいと伝え、調整中。
→調整でき次第、テーマと概要、教授の肩書をメーリングリストにて報告する（大石さん）

2. 総会当日のスケジュールについて（時間は前回と同じ）

日時：平成 29 年 5 月 28 日（日）14：00～17：00（受付は 13：30 開始）

会場 かつしかシンフォニーヒルズ別館 2 階 メヌエット

役員集合時間：12：50（会場が使えるのが 13：00 からであるため）

3. 総会の役割分担について

- ・総会議案等の資料作成：金杉さん→1 号議案・3 号議案 小暮さん→2 号議案・4 号議案
4 号議案には、各部会の活動費として 1800 円（会場代 2 回分相当）ずつ計上する。
- ・監事監査の実施：賀川さん・中前さん。手順は以下のとおり。
小暮さんが 2 号議案（決算書）を作成し、メーリングリストにあげる
→賀川さんがそれをプリントアウトし確認・署名捺印。中前さんに郵送する。
→中前さんも確認・署名捺印。金杉さんに郵送する。5/20 必着
- ・障害部会立ち上げ提案書作成：吉田さん→金杉さんにデータを送る
- ・総会議案等（新規部会立ち上げ提案書含む）の印刷・持参：金杉さん
- ・講師資料の印刷・持参（40 部）：大石さん
- ・資料のホッチキス止め：手伝える人全員。皆さんホッチキスを持参してください
- ・会の横断幕・セロテープ持参：吉田さん

- ・会場内に掲示する横断幕（A4用紙に1文字ずつ）の作成：吉田さん
- ・出欠席表の作成：中嶋さん
- ・パソコン準備：大石さん（事前にシンフォニーヒルズのプロジェクターとの相性を確認）
- ・懇親会の手配：中嶋さん

（関連事項）

- ・今年9月の定例会「司法福祉分野」について、東京社会福祉士会司法福祉委員会に講師派遣の打診をする（小暮さん）
- ・有名な講師を依頼する場合には参加費を徴収することを総会で告知するという話について。現段階では実際に有名な講師を依頼していく方向になっているわけではないので総会では言及しないこととする。資料代の徴収は他の地区会もやっていて事前の告知も不要だと思われる。資料代の徴収はよしとする。
- ・区議会への陳情について。公明党より7月に行われる都議選の候補者を推薦してもらえないかと打診があったが、引き受けられないが今後も協力が得られるよう話を先延ばしにした。今後も各政党とは適度な距離を保ちながら政治への関わりは続けるべき。職能団体によって、1党支持を明確にしているところもあれば、同時にいくつもの政党の推薦をしているところもある。推薦者として団体名が載るため知名度向上にはなる（和賀井さんより）。

4. 吉田会長からの報告

①障害部会立ち上げについての提案内容。別紙参照。

②障害支援区分審査会委員の受任について

4/5に審査会委員全体会があり出席。早速、審査会に参加。11件を約30分で審査した（1件平均3分の計算になる。通常は15件から20件）。88項目の調査に基づき出された一次判定をもとに、前回の結果との整合性も含めて審査する。

障害福祉課萩原課長に、この推薦枠1名を守っていきたいと伝えたところ、もっと増やせと激励された。

③障害者施策推進計画策定委員会の委員の受任について

広報かつしかで委員を募集していたので申し込み、作文と面接による選考を無事に通過して委員を受任することになった。

5. 会のホームページについて

これまでホームページの作成・更新を担当してくれていた谷藤さんより、3/31をもってこの業務を辞退する旨連絡があった。谷藤さんが役員であった頃にホームページ作成を引き受けてくださり、役員退任後もご好意により長期に渡って継続となってきた。

辞退された背景としては、役員会や定例会にも参加しておらず状況がわからない中、ホームページに掲載する文章・写真のみをやり取りするという状態が続き、部外者が行うのではなく地区会として発信すべきであるとの思いを強くされたということがあった。会として編集方針を

持つこと、役員のコメントを入れたり、定例会の内容や感想などを編集後記として載せたりすることなどの確なご指摘もいただいた。

→①ホームページは会としても重要な情報発信媒体。他の地区会や定例会参加者からも好評であり継続したい。ただし、一から作成する技術もなく、過去に掲載された情報も貴重なものであるため、結論としては、現ホームページを谷藤さんから引き継ぐ形としたい。

②サーバーの契約料やホームページビルダーの購入費用（あるいは和賀井さん所持の2年前のものでも支障がないか）などお金がいくらかかるかを確認する必要がある（小暮さんから谷藤さんに確認する）。

③ホームページの更新作業について、小暮さんが興味ありとのこと。総会でも協力者を募る。

次回役員会 平成29年6月15日（木）19:00～